

建築士会は  
建築士のネットワークの  
中心にある  
キーテーションです。

# 建築士会

Architects & Building Engineers Association

ひとりの力で創ることも壊すこともできる建築ですが、ひとりだけでは形にすることができないのも建築です。

建築士会は建築士のためのキーテーションとなつて、ひとりひとりの建築士の機能と知識情報の源を広げ、前進をつづける建築士の社会貢献活動をサポートします。

Question  
どんな活動をするの?

建築士有資格者の職能団体であることを活かし、社会貢献推進のための各種委員会活動や、地域貢献活動、地震災害発生時の応急危険度判定士派遣及び建築相談に対応しています。青年部会・女性部会も組織されており、職能を活かし様々な社会貢献活動をしています。また、各支部毎の勉強会・見学会等の行事を通じて建築士としての資質向上を図ります。

## 大崎市管内『小学校通学路内ブロック塀等実態調査』 業務完了報告

大崎市ブロック塀等調査業務の受注者の(一社)宮城県建築士会と申します。

平成30年6月18日に発生致しました大阪府北部地震によりブロック塀が倒壊し、小学4年生の女児が犠牲になったことは誠に遺憾でございます。大崎市では上記災害を受け、小学校通学路内のブロック塀等実態調査を行いました。

調査に際しましては、該当する塀所有者の市民の皆様には深いご理解とご協力をいただき、管内25小学校周辺の全ての点検調査を完了することができました。

併せて啓蒙活動の一環として、危険ブロック塀等チェックポイント等の資料を配付させて頂きました。ブロック塀等は地震等による倒壊の事例が数多く報告され、通学路、避難路等不特定の人々が通行する道路に面するブロック塀の安全確保は、地域社会の共通する願いです。ブロック塀等の構造、耐久性、転倒防止対策を理解して、自己点検してみましよう。

現場代理人：砂金隆夫 (一社)宮城県建築士会会長  
現場事務所担当技術者：青木 司 大崎支部支部長  
担当業務員：原 清人 大崎支部地域貢献委員長  
担当業務員：佐々木幸正 大崎支部筆頭副支部長  
担当業務員：猪股 昭一 大崎支部幹事長  
調査員：宮城県内8支部の建築士80名(特別講習・説明会受講者)  
大崎支部・名取巨理支部・仙台支部・仙台東支部・まつしま支部  
石巻支部・登米支部・栗原支部会員

### 会員募集

問いかけられる自己責任

ブロック塀のような私的財産は、所有者の責任において管理するのが基本です。  
自宅の周りの塀等をもう一度点検し、安全で安心な住み良いまちづくりを皆さんでめざしましょう。

あんしんなブロック塀をめざして



(一社) 宮城県建築士会

〒983-0862 宮城県仙台市宮城野区二十人町301-3  
(宮城県建設業国民健康保険組合会館 5F)

電話 (022) 298-8037  
FAX (022) 298-8038

宮城県建築士会

SEARCH

忘れない  
3.11

# 大崎市被災建築物応急危険度判定模擬訓練

3月11日（水）実施

東日本大震災から9年



## 地震！この建物大丈夫？ 被災建築物応急危険度判定



### 被災建築物応急危険度判定とは…

地震により被災した建物が、その後に発生する余震等で倒壊したり物が落下して、人命に危険をおよぼす恐れがあります。そのため、被災後すぐに、地方公共団体により、応急危険度判定士が被災建物の調査を行い、その建物を使用できるか否かを応急的に判定することをいいます。この調査は無料です。また罹災証明のための被害調査ではありません。



（赤紙）この建物に立ち入ることは危険です



（黄紙）この建物に立ち入る場合は十分注意して



（緑紙）この建物は使用可能です

### 応急危険度判定士とは…

応急危険度判定士は、都道府県知事が認めた建築技術者で、ヘルメットシール、腕章等で明示され、身分を証明する判定士登録証等を常時携帯しています。



### 調査結果の表示は…

応急危険度判定による調査結果は、「危険」・「要注意」・「調査済」の三種のステッカーで、建物の出入口等の見やすい場所に表示します。  
判定結果に対する問い合わせ先は、判定ステッカーに記入されています。



被災建築物応急危険度判定訓練

実施中

ご協力をお願いします。  
大崎市  
宮城県建築士会大崎支部

建築士会は **建築士の活動** - 社会貢献をめざします -  
建築士のネットワークの中心にある  
キーテーションです。

# 建築士会

Architects & Building Engineers Association

被災地へ  
応急危険度判定士活動の協力をしています。

応急危険度判定士として建築士たちは被災地に赴き、ボランティア活動をしています。  
2004年新潟中越地震、2007年新潟中越沖地震、2008年岩手宮城内陸地震、2011年東日本大震災では、地元建築士会はもとより、多くの建築士会会員が応急危険度判定士として被災建築物応急危険度判定活動、住宅相談活動に協力しました。建築士連は被災地での活動経験を、建物の耐震化耐震補強の推進、防災・耐震まちづくりに生かし、生命財産を守る地域のまちづくりに参加しています。

大崎市と建築士会は大規模地震発生時における「応急対策活動及び応急危険度判定」を迅速かつ的確に実施するために災害時を想定した訓練を平成25年から毎年実施。

「訓練及び判定技術の向上」「協力の要請から応急対策活動までの一連の流れ」を確認し有事に備えるべく行政との連携の確立、そして広く市民へアピールすることを目的に実施している。



## （一社）宮城県建築士会

〒983-0862 宮城県仙台市宮城野区二十人町301-3  
(宮城県建設業国民健康保険組合会館 5F)

電話 (022) 298-8037  
FAX (022) 298-8038

宮城県建築士会

SEARCH